

虐待のない世の中願う



千葉県野田市立小学校4年の女兒が死亡した事件

で、女兒を一時保護していた児童相談所などが会見をした。女兒は学校のアンケートで父からの虐待を

打ち明け、一時保護された。しかし虐待は一時的なものだと判断され、保護は解除された。だが、父からの虐待がやむことはなく、女兒は約1年後に死亡した。

私はこの記事を読んで、彼女のSOSに誰も適切に対応してくれなかったのだと感じた。彼女がどのよ

たけうち ひいろ 竹内 日彩さん(藤島中2年)

うな気持ちで、どのような状況で必死に助けを求めたのかを考えると胸が苦しくなる。この事件後、彼女を一時保護していた児童相談所の会見をニュースで見た。彼らは何回も謝罪の言葉を述べていたが、もう手遅れだと思った。今も多くの子どもが親からの虐待を受けているかもしれない。この世の中からそうした虐待がなくなることを心から願っている。

千葉・小4女兒死亡

千葉県野田市小4年、原心愛さんが自殺死した事件で、2017年に心愛さんを一時保護した児童相談所が、記者会見し「保護の解除後、児童相談所の職員が一度も尾を新聞しなかった」と明らかにした。「一報一報」は「解雇の判断は不適当だった」との後の対応不足についてと謝罪した。

保護解除後に自宅訪問せず

地元児相 対応不足を陳謝
父「一報一報」は「解雇の判断は不適当だった」との後の対応不足についてと謝罪した。

「虐待一時的、状況改善」と判断



児童相談所長(中央)ら。28日午後、千葉県庁で記者会見した。左から、千葉県庁児童相談所長(中央)ら。28日午後、千葉県庁で記者会見した。左から、千葉県庁児童相談所長(中央)ら。28日午後、千葉県庁で記者会見した。

